

令和3年度

2021年 4月 1日から

2022年 3月 31日まで

## 事業計画書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人 大槻能楽堂

## 令和3年度事業計画

当能楽堂は、ユネスコ無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っています。

事業ごとの主な内容は以下のとおりです。

### 1. 能楽公演等事業

#### (1) 自主公演能事業

##### 能の魅力を探るシリーズ（年10公演）

毎年テーマを定めてお送りする 能の魅力を探るシリーズ。今年のテーマは「能の描く男たち」です。人はさまざまな人生を送る。そして生きざまもさまざまです。人々はどのような人生を送ったのか、能に描かれた男たちは難しい世の中をどの様に生きたのか、それは運命と言えるものか、定められた宿命なのか!?名曲に登場する人々の生き方を見つめる公演。

また、引き続き文化人・歌人・研究者を講師に招聘して、演目の解説のみならず、様々な角度からお楽しみ頂ける公演として開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ	講師
2021年4月24日	玄象	替之型	上田拓司	中西進
5月22日	弱法師	盲目之舞	武富康之	梅内美華子
	富士松		野村萬	
6月26日	景清		梅若万三郎	金子直樹
9月25日	重衡	復曲能	浦田保親	村井康彦
10月23日	遊行柳	青柳之舞	梅若実	山折哲雄
11月27日	善知鳥		浅見真州	天野文雄
	素袍落		茂山七五三	
12月18日	鉢木		友枝昭世	井沢元彦
1月22日	雲林院	世阿弥自筆本	観世鍊之丞	村上湛
2月26日	頼政		上野雄三	小田幸子
	入間川		善竹忠重	
3月26日	邯鄲	傘之出	粟谷明生	大森亮尚

### 特別企画公演（全1公演）

2019年1月12日にお亡くなりになった哲学者 故 梅原猛先生を偲ぶ追悼公演。  
生前中は能をこよなく愛し、能楽界に新風を吹き込まれ、能楽ファンが増加。  
大槻能楽堂でも20回近くの講演をしていただきました。その内容は朝日新聞社より『梅原猛能の授業』として出版されています。

追悼として、梅原先生が最も評価した演目の一つ「鶴」を上演。また梅若実と大槻文藏の二人の人間国宝に加え、長年梅原先生の秘書として勤められた西川照子氏による鼎談も行い、講演映像の上演にて先生の講演や新作能の事を思い起こし、先生を偲ぶ公演を開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ	講師
2021年5月8日	講演映像の上映			
	鼎談		梅若実・大槻文藏・西川照子	
	仕舞 河勝		大槻文藏	
	仕舞 針間		大槻裕一	
	独吟 世阿弥		梅若実	
	鶴		大槻裕一	

### ナイトシアター（全1公演）

#### ろうそく能

ろうそくの炎の中で能を鑑賞いただくろうそく能。近年は他芸能ジャンルとのコラボ企画で開催。今回は「鉄輪」を能と京舞で楽しんでいただきます。

能は大槻文藏、京舞は井上八千代という共に人間国宝による番組。また講演では陰陽師文化に精通された夢枕獏氏を講師に招き、ろうそくの炎のもと、陰陽師の世界を堪能していただき、新しい観客層の確保につながる公演となるべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ	講師
2021年7月9日	お話「丑刻詣と陰陽師」			夢枕獏
	地唄 鉄輪		井上八千代	
	鉄輪		大槻文藏	

### リニューアル記念特別公演（全1公演）

能楽堂の改修を2年度にわたり行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、リニューアル記念公演の2公演を中止したこともあり、ご支援いただきました皆様への感謝の意味をこめ、開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2021年9月20日	翁	弓矢立合	多久島利之 齊藤信隆 赤松禎友
	舞囃子東方朔		大槻文藏・大槻裕一
	栗焼		善竹彌五郎
	船弁慶	重前後之替 語入・名所教	片山九郎右衛門

#### 至芸を観る（全1公演）

芸術の秋にふさわしく人間国宝・名人名手の至芸を楽しんでいただく公演。  
能楽の見巧者だけではなく、初めて能楽を鑑賞する観客の方にも能楽の至芸を  
観ていただく公演を開催いたします

開催日	演目	小書	シテ	講師
2021年11月13日	定家	甲之掛	観世清和	村上湛

#### 次世代が挑む（全1公演）※新企画※

次世代を担う若手演者を中心とした新企画。

当能楽堂は、設立当初より日本の古典芸能の粋を披露することを使命として  
活動してきました。そのため、熟練の演者による公演が多く、しかし、そのまじ  
かで育てている若手の技術もかなり磨かれております。今後は若手育成、プロデ  
ュースも使命と考え、若手の芸を披露する場を多く提供し、魅力を伝え、若い世  
代の観客確保につながる公演となるべく、開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2022年2月12日	田村	替装束	観世三郎太
	二人袴		茂山七五三・茂山慶和
	殺生石	白頭	観世淳夫

#### 新春能（全2公演）

例年1月3日と4日に行われる新春能。関東、関西の能楽界を代表する名人  
が一挙に集い、新年を迎える目出度さを祝う二日間連続公演です。

恒例の「翁」にて天下泰平五穀豊穰を舞台で祈り、3日と4日で異なる流派の  
狂言、その他も新春にふさわしい演目にて、名人達の至芸を存分に鑑賞していただ  
く2日間。地域にも認知頂いており、周辺地域を活性化や東西の能楽界第一線  
で活躍する能楽師を迎え、能楽界全体の活性化を促すべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2021年1月3日	翁		浅井文義 茂山茂
	佐渡狐		茂山千五郎
	羽衣	彩色之伝	野村四郎
2021年1月4日	翁		大槻文藏 野村太一郎
	靱猿		野村万作 野村萬斎
	大会		観世喜正

## (2) 学生鑑賞能事業

中・高校生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せて行います。本年度は年間3回程度行う予定です。

(清教学園高校・梅花高校・玉造小学校)

## (3) 委託公演能事業

1、恒例の有馬能楽堂で催す有馬能が、例年通り計5回開催されます。

2、三田屋心齋橋店(令和2年度OPEN)内の舞台にて、毎日2公演の能楽公演の委託を請負、より多くの方に伝統芸能能楽に触れる機会を提供します。

能楽にあまりなじみのない方にも、短時間でも伝統芸能能楽の良さ、楽しさを理解していただけるよう囃子演奏、舞囃子等を行います。

3、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」は本年度も事前にワークショップ体験授業を行った上で、当日は下記公演内容で実施します。

①オープニング演奏

②能楽について(DVD鑑賞)

③謡ってなあに?(謡に挑戦・共演・発表会)

④エア楽器でお囃子体験!(囃子解説/エア楽器体験)

⑤鬼女の征伐に同行!ワキ方体験

⑥生徒と共演!能でつかうあれこれ!(能面・小道具・能の登場人物紹介)

⑦ストーリー説明(スクリーン使用)

⑧能楽鑑賞「紅葉狩」

今年度はA区分(単年度)の採択区分にてAブロックにて採択されており巡回致します。

能が抱かれがちな「静かで変化に乏しい」というイメージを払拭し、鑑賞中子供達がワクワクできるように、能の中でも華麗な場面と、その場面が一転して戦いの様相に変化するという、見ているものを引き込んでいく展開で初

心者でも入門編として分かり易い演目「紅葉狩」で実施致します。

上演は、体育館に特設の能舞台を組んで致し、感受性豊かな子供時代に日本の舞台芸術である伝統芸能「能楽」を知ることで、将来の文化芸術に対する観賞力等が大きく向上することができればと考えています。

- (4) その他謡曲教室事業を、大阪府教職員互助組合の退職会員を対象に年2回、行う予定です。(新型コロナウイルス感染症の影響で能楽堂主催は見送り)

## 2. 能楽堂等貸与事業

### (1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人(この目的に賛同するものを含む。)に対して当法人が所有する能楽堂を貸与します。能楽の公演会場としては年間55回以上、稽古場としては年間150回以上の貸与予定です。しかし、能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動に対して積極的に貸与する予定です。

- (2) その他能面・能装束及び作り物の貸与事業を行います。

## 3. 大槻能楽堂改修工事

当能楽堂は昭和10年に設立し、建物の老朽化に伴い、昭和58年に大規模な改築いたしました。その改築から早30年が経ち、座席の狭さ、手洗所の不足、また目に見えない建物自体の腐食、破損、空調、照明等の耐用年数の経過や経年劣化となっており、改修が必要となりました。

令和1年には客席座席の入替、地下トイレのリニューアル、ロビーの壁面塗装、建物の外壁塗装を実施。

令和2年には1F多目的トイレの新設、空調機器更新、照明設備(LED化)工事、放送機器更新、イヤホンガイドブース3室設置工事を実施。

今後も、世界無形文化遺産である能楽を末永く公開していく活動拠点でありたいと考え、本年も引き続き改修工事をいたします。

### 予定工事内容

- ① 能舞台修繕工事
- ② 作り物置場整理改修工事
- ③ 映像・音響設備改修工事

以 上